

# 西脇の炎が 世界の舞台へ

8月12日(木)に東京2020パラリンピック聖火リレーが始まります。全国各地で、代表ランナーらがトーチをつなぎます。また、聖火リレーに合わせ、全国各地さまざまな関連イベントが予定されており、西脇市では、聖火の火をおこす「採火式」を行います。

◆問合せ  
生涯学習課スポーツ振興室(総合市民センター内) ☎22-5996

## 聖火リレーのコンセプト

Share Your Light/あなたは、きっと、誰かの光だ。

\* この東京2020パラリンピック聖火リレーのコンセプトには、今大会を契機に、共生社会を実現し、人と人、人と社会との新しいパートナーシップを考えるきっかけとなるよう、期待が込められています。つまり、「新たな出会いから生まれる光を集め、みんなが調和し、生かす社会を照らそう」という思いが表現されています。

また、パラリンピック聖火リレーを通して、社会の中で誰かの希望や支えになっている多様な光(＝人)が集まって出会うことで、共生社会を照らす力にしようというメッセージも表されています。聖火リレーでは、原則として「初めて会う3人が1組」となり、トーチをつないでいきます。

## パラリンピックの聖火

パラリンピック聖火リレーは、昭和63年に韓国で開かれたソウル1988パラリンピックが始まり、使用される聖火は、古代

### IPCの理念

パラリンピック聖火はみんなのものであり、パラリンピックを応援する全ての人の熱意が集まることで聖火を生み出す。

\* これは、IPC(国際パラリンピック委員会)の理念です。パラリンピック聖火リレーは、この理念に基づいて行われます。東京2020パラリンピック聖火リレーは、8月12日(木)～24日(火)に予定されています。オリンピック閉会からパラリンピック開会までの移行期間に開催され、オリンピックの熱気と興奮が、パラリンピックへとつながれます。

自治体が火をおこす「採火式」を開催します。全国各地で採火された炎は、最終的に東京で一つになり、競技を行う4都県内でリレーされます(いずれも今年3月末現在の予定)。

## 本市でも採火式開催

西脇市は8月12日(木)、三木市と加西市、加東市、多可町とともに、日本へそ公園で採火式を行います。本市では、パラボランテナ型の装置II写真IIを使って火をおこします。

また、同日から15日(日)まで、採火した炎をランタンに灯して展示する「聖火ビジット」を市内の公共施設で開催します。パラリンピックの聖火を間近で見ることが出来ます。

その後、神戸市で開かれる兵庫県聖火フェスティバルの集火式へ炎を送り出します。

## 東京2020パラリンピック 聖火リレー採火式

- ◆とき  
8月12日(木) 午前10時～10時30分  
/雨天中止
- ◆ところ  
日本へそ公園 銀河の広場
- ◆その他  
新型コロナウイルス感染拡大状況により、非公開または中止とすることがあります。また、見学時は感染防止対策にご協力をお願いします。  
・発熱や咳などの症状のある方は、来場を控えてください。  
・マスクを着用し、手指消毒と検温をしてください。  
・住所と氏名、年齢、連絡先を確認します。

オリンピック発祥地のギリシャ・オリンピック市で採火されるオリンピックと異なり、開催国の各地で採火される炎から生み出されます。  
各地で採火された炎は、開催都市で一つに集められ、パラリンピックの聖火として、開催都市を巡ります。炎は、人々がパラリンピックを応援する熱意の表れとされており、SNSなどを活用したデジタルの炎も認められています。  
今大会では、880を超える



ボッチャは、ジャックボールと呼ばれる白いボールに向け、赤と青の6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、相手のボールに当たったりして、ジャックボールにいきなり多くのボールを近付けるかを競うパラスポーツ(障害がある方たちが行うスポーツ)。

子どもたちが市聴覚障害者協会の皆さんとパラリンピック種目のボッチャを体験

8/12(木)～8/15(日)

## 聖火ビジット

採火した聖火をランタン=写真=に灯し、聖火が市内の公共施設を巡る「聖火ビジット」を実施します。

ただし、採火式が中止となった場合は、聖火ビジットも中止することがあります。

- ◆とき/ところ
- ・8月12日(木) 午前11時～午後5時  
/にしわき経緯度地球科学館
- ・8月13日(金)  
午前9時～午後5時  
/市民交流施設
- ・8月14日(土)  
午前9時～午後5時  
/茜が丘複合施設みらいえ
- ・8月15日(日)  
午前9時～午後5時  
/総合市民センター





# 新型コロナウイルス ワクチン接種に関する お知らせ

※7月20日(火)現在の情報です。

## 接種の対象と予約

### 16歳以上の全ての方

接種の対象は、16歳以上の方と基礎疾患のある満12歳以上(接種当日)の方です。接種券を受け取っていない方は、予約コールセンターへ連絡してください。

国から配分されるワクチンの量により、予約枠を調整しています。枠を追加することがありますので、予約サイトまたは予約コールセンターで確認してください。

8月12日(木)から集団接種会場で未就学児を対象に託児所を開設します。集団接種を予約後、接種の3日前までに予約コールセンターへ予約してください。

## 接種証明書(ワクチンパスポート)の発行

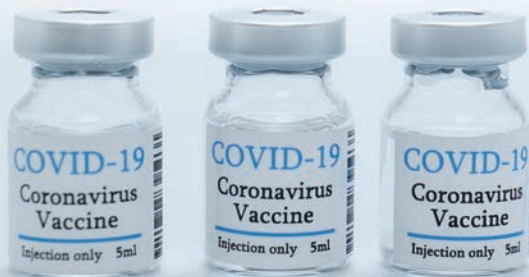
海外への渡航者を対象に、接種証明書(ワクチンパスポート)の申請を受け付けています。申請には申請書のほか、旅券と本人確認書類の写し、接種を証明する書類、返信用封筒などが必要です。詳しくは市ホームページまたは下記へ。

### ◆申請・問合せ

新型コロナウイルスワクチン接種対策室(市役所内線 2242)

## 予約コールセンター

☎22-3300 FAX 22-3310  
(午前9時~午後5時) (受け付けは24時間)



## 新型コロナウイルス関連情報 特別給付金のご案内

### ①出産応援特別給付金

感染症による緊急事態宣言下での生活を余儀なくされた妊産婦を応援します。

#### ◆対象

6月24日時点で本市の住民基本台帳に記録されている方で、昨年7月1日~今年7月31日に妊娠届出書を提出した方など

#### ◆給付額

児童一人当たり5万円(交付した母子健康手帳1冊につき)

#### ◆給付時期 8月10日(火)以降

#### ◆申請方法

対象者へ案内を送付します。申請書に必要な書類を添えて下記へ。

#### ◆申込み・問合せ

- ・こども福祉課(市役所内線 1153)
- ・健康課(市役所内線 1173)

### ②子育て世帯生活支援特別給付金

低所得の子育て世帯を支援します。

#### ◆対象(①または②のいずれかに該当)

①高校生の児童のみ養育する方で、住民税均等割非課税の方

②3月31日時点で18歳未満の児童(障害児は20歳未満)を養育する父母等で、1月1日以降の収入が急変し、住民税均等割非課税相当の収入となった方(来年2月末までに生まれた新生児も対象)

※ひとり親世帯およびひとり親世帯以外の方で給付金を受け取った方は対象外です。

#### ◆給付額 児童一人当たり5万円

#### ◆給付時期 8月以降

#### ◆申請方法 市ホームページまたは下記へ。

#### ◆その他

住民税非課税の方が主な対象です。住民税の申告をしていない方は、住民税未申告の扱いとなり、給付金を支給できません。速やかに住民税の申告をしてください。

#### ◆申込み・問合せ

こども福祉課(市役所内線 1153)



▲シットイングバレーをプレーする岡平ゆかりさんら(現役時代)

日本代表として世界の舞台に立った岡平さんに、「パラスポーツの魅力を探ねると、「パラスポーツの22競技それぞれに魅力があります。オリンピックと同じように、前回大会を上回る7位入賞を果たしました。」

「オリンピックとパラリンピックが、並べて表現される時代になってうれしい」と話す岡平さんは、パラスポーツへの理解が深まっていると実感しています。最後に、思い描く理想の社

シットイングバレーボールは、1チーム6人でネットを挟み、お尻を床につけた状態で競技するパラスポーツ。バレーボールよりネットが低く、コートは狭い。接近戦で、スピード感あふれる試合展開になることが魅力。

西脇市出身の岡平ゆかりさんは、14歳のときに右足に骨肉腫

を患い、義足での生活に。30歳でシットイングバレーボールを始め、北京2008パラリンピックとロンドン2012パラリンピックに、日本代表選手として出場しました。

「メダルを目指していたので、必死でした。金曜に仕事を終えると、住まいのある明石から東京へ向かい、週末は合宿に参加。日曜の夜に明石に戻り、月曜からは仕事でした」と現役時代を振り返る岡平さん。セッターとして活躍し、ロンドン大会では

「今は多様性が認められる社会になりつつあり、一人一人が幸せを感じられる時代。スポーツに関しても、障害の有無に関係なく、頑張っている人が脚光を浴びる社会になってほしいです」と岡平さん。

# 人々に勇気と感動を与える選手が パラスポーツからも出てほしい

## 元日本代表選手 岡平ゆかりさん



じように、選手の活躍から勇気

をもらえますし、選手の競技人生そのものにも関心を持ってもらうと、また違った見方もできると思います」と話します。

今大会では、シットイングバレーボールはもちろん、金メダル候補の土地結衣選手(車いすテニス)に注目しているそう。

「大谷翔平選手や大坂なおみ選手、池江璃花子選手のように、コロナ禍にたくさんの人に勇気と感動を与える選手が、パラスポーツからも出てほしい」と、期待を膨らませています。

東京2020パラリンピックは、8月24日(火)に開幕。大舞台で戦う選手の皆さんにエールを送りましょう。